

第3回日本大使杯空手選手権大会

(2019年8月10日 於：ビング・ナショナル・スタジアム)

2019年8月10日、マラウイ空手協会との共催で第3回日本大使杯空手選手権大会を開催しました。開催地リロングウェ(首都)に加え、ブランタイヤ、サリマ及びドーワの空手クラブに所属する約70名の空手家(含子供)が型トーナメントに参加しました。また、今回スポンサーとなった警備会社のプロテリジェントは「ジュージュツ」を披露しました。

柳沢大使はスピーチで、本大会において昨年より多くの子供が参加していること、そしてより多くの地域が選手を輩出していることに触れ、空手が浸透していることを喜ばしく思うと述べました。また、2020年の東京オリンピック競技大会に新しく空手が追加されたことを祝福する一方、マラウイ国内における空手連盟の設置の必要性を強調しました。

大会には、主賓のシムワカ青年・スポーツ・文化省次官の他、オリンピック委員会、国家スポーツ評議会、警察、軍等の政府関係者の来賓も参加し、多くの観客が空手の精神を学び試合を楽しみました。

更に、本大会の午前と午後の間に、在留邦人有志が主体となって日本祭りを行い、折り紙教室、紙飛行機作り、けん玉体験、習字による日本語で命名、そしてスイカ割りを行いました。各種目は大盛況の内に終わり、日本のスポーツのみならず日本文化についても選手と観客の皆様楽しんでもらえました。

【空手大会】



開会式の様子



型トーナメントの様子



プロテリジェントによる
「ジュージュツ」の披露



組み手デモンストレーションの様子



表彰式の様子（子供カテゴリー）



表彰式の数（子供カテゴリー2）



開会式でスピーチを行う柳沢大使



閉会式でスピーチを行う主賓の
シムワカ青年・スポーツ・文化省次官



全体集合写真

【日本祭り】



兜など日本文化品の展示



紙飛行機ブースに立つ在留邦人有志の方々



柳沢大使と新聞紙で作成した兜を着用する子供達



すいか割りの様子



自分の名前を漢字で書いた紙を持つ少年



折り紙ブースに立つ在留邦人有志の方々